

全国大学書写書道教育学会・第39回(福岡)大会シンポジウム

GIGA スクール時代における手書き

日時：令和6年9月22日(日) 14:00～16:00

会場：福岡教育大学教育学部〔特Ⅰ教室〕

(福岡県宗像市赤間文教町 1-1)

<概要>

2019年12月に文部科学省がGIGAスクール構想を発表し、全国の学校で高速インターネット環境の整備やデジタル端末の普及を目指した取り組みが推進された。1人1台の学習用デジタル端末やネットワーク環境を整備し、様々な学習場面で活用することで、個別最適化された創造性を育む教育やICT環境を実現することが目指されている。デジタル端末を使うことで、従来の教科書や教室にとらわれない多様な学習方法が可能となり、学習スタイルに合わせた学びが実現できる効果がある一方で、様々な課題も指摘されている。当学会では、昨年、「ICTの時代と手書きを考える」をテーマに、情報工学の研究者を招いて手書き文字認識技術の現状を共有し、手書き及び手書き文字の意義や日本社会における手書きの未来について考えるシンポジウムを行った。今回は、その第2弾として、GIGAスクールにおける教育現場の現状を共有し、手書きや手書きによる学びについて考え、意見を交わす機会としたい。

実践報告 – GIGA スクールの実際 –

実践報告： 坂本順司（福岡県立八幡工業高等学校教諭）

荒谷 舞（横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校教諭）

ディスカッション

登壇者： 坂本順司（福岡県立八幡工業高等学校教諭）

荒谷 舞（横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校教諭）

松本仁志（広島大学教授）

押木秀樹（上越教育大学教授）

コーディネーター：青山浩之（横浜国立大学教授）

（※シンポジウムのみご参加の場合は、参加費として1,000円を頂戴します。）

主催：全国大学書写書道教育学会

後援：福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 宗像市教育委員会

問い合わせ先 横浜国立大学教育学部・青山浩之 E-mail: aoyama@ynu.ac.jp